

コロナウィルスと FEMA の棺桶：基本的に悪なる者たち

Greatchain

2020/02/28

いつも世相の問題で突然、電話してくる旧友が、コロナウィルスの問題で久しぶりに電話をしてきた。「これどう思う？ あなたは前に棺桶のことを書いていたね」——棺桶？ ああ、あれか思い出した。確かに私は「FEMA の棺桶（と強制収容所）」のことを、調べてみたら 2012 年から 2016 までに数回、書いていた。これは特筆すべき重要な話題なのに、いつの間にか忘れていた。彼の電話は、私にこれを思い出させたところで切れてしまった。

なぜこれが、今、彼にも私にもよみがえったのか？ それは、この不気味で異常な、基本的に悪意をもつ者たちの情景が、我々の脳裏に浮かんできたからだと思う。それは、アメリカの要所に延々と並べられた、FEMA（米緊急事態管理庁）の棺桶や強制収容所の光景で、それが、直接は関係のない、コロナウィルスの恐ろしい蔓延と繋がって出てきたのだと思う。

そもそも、あの大量のプラスチックの棺桶は何だったのか？ もしアメリカが、自然災害で大量の死者が出ることを予想していたとしたら、地震や水害のための工事をするはずである。棺桶や（ナチスのそれに似た、恐怖を煽る）強制収容所などを、作りはしない。FEMA は明らかに、暴動で大量の人が死ぬこと、はっきり言えば、殺すことを予想している。しかも、明らかに殺す意図を見せつけている。つまりここから、「人口削減」あるいは「ジェノサイド」という（隠れた）国家の意志があることが、はっきりわかる。（この意志が現実になったと聞いたことはないが。）

これを疑う人、あるいは知らない人は、米ジョージア州にある、巨大な石の記念碑、「ジョージア・ガイドストーンズ」に刻まれた言葉を読んでみればよい。そこには「地球の人口は 5 億でよい」と、人口削減の意図が、明瞭に述べられている。（こんなことは、知る人は常識として知っていることだが、例によってメディアは隠しているのです、この重要なことを知らない人が多いだろう。）公然の秘密になっていることを、知らない人が多いために、今、コロナウィルス爆発が始まって、いろいろ不都合なことが起こっている。彼ら New World Order とも呼ばれるグローバル・エリートは、この「人口削減」という大事業を、口先だけで言っているのではない。本気でやっているのである。これが更にどこにつながるかを知りたい人は、ビル・ゲイツを調べてみればよい。彼も賛否両様の評価を浴びなが

ら、信念として真剣に主張している。彼の主張で最も問題になるのは、ワクチン接種や「優生学」の是非である。これを人口削減に用いることは、どの程度合理的なのか？ そもそも人口削減という考え方自体が、幸福をもたらすのか？

もう一つ啓蒙運動をすると、不気味で邪悪なもので、これ以上のものはないと思われるものが存在する。それはアメリカのデンバー国際空港に、公然と展示されている、壁画や、死神などの像である。これは説明より、ぜひ我々の記事「子供の死体のある風景——サタン文化とは何か？」<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/180330.pdf> をごらんいただきたい。

こういった者たちの主張する地球改革アジェンダが、すべてに共通していることに注意すべきである。FEMA の棺桶、ジョージア・ガイドストーンズ、デンバー国際空港の壁画、ビル・ゲイツの人口削減——。彼らの考えすべてについて、一概に善い悪いで評価することはできない、と言う人たちがいるかもしれない。しかし、それらのすべてが、気味悪く恐ろしいもの、曖昧で狡猾なもの、サタンので陰険な、悪意あるものを感じさせる。そしてこれこそが、現在の世界全体を支配し、我々をもまた精神的に支配している者たちである。彼らは「悪の帝国」を霊的に強力に主宰している。

今、世界的に起こっているコロナウィルスの蔓延は、そういうものとして捉えるべきである。まず、このウィルスの蔓延を、純粹に自然に起こったものと考えすることはできない。「彼ら」は、世界を支配しようとする決然たる意志——人口削減だろうと、世界の乗っ取り計画だろうと——を持つ者たちである。これは間違いない。その者たちが、計画通りいなくなり、思わぬ方向に暴走してしまった、ということはあるだろう。しかしこれは自然に起こったことではない。

この者たちにとって「兵器としてのウィルス」など当たり前のことである。我々、善良で良識ある者たちが、「そんなものは考えられない」などと言うなら、笑われるだけである。そもそもウィルスの世界的蔓延を、純粹に唯物論的に、物理的に考えることなどできない。自然か人為かに関係なく、そこには何らかの意味がなければならない。その意味をどう解釈するかは我々自身にかかっている。

「悪」というものが否応なく存在する。しかも「純粹悪」というべきか、悪のための悪のようなものが、なぜか、この世には存在する。SOTN の教えてくれた「神は曲がった線を用いてまっすぐに書く」ということがなければならない。「我々は科学によって生きているのだから、そういう馬鹿なことを言う人の話は聞けない」と言う人があれば、その人は滅びの道を選んでいる。そして、世界が滅びるかどうか、コロナウィルスが滅びるかどうかも、究極的には、我々の意志に関わっていると考えてよい。これについて、「戦争よりも我々

の選択する生き方に、この惑星の運命がかかっている」を読んでいただけるなら幸いです。
る。<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/180509.pdf>

次の記事「瞑想の効果」で言われていることも、まさに意識（意志）が、物理的に現実を動かすという内容である。このブログに不安な方々は、ぜひ読んでみていただきたい。

http://www.dcsociety.org/2012/info2012/140226_2.pdf

――以上